

さやまの茶本

茶飲み話



八十八夜も過ぎ、さわやかな五月の風の中、市内には、新茶(狭山茶)の香りが漂い始めました。狭山茶の歴史は古く、鎌倉時代に栄西(えいせい)禪師が中国よりお茶の種子を持ち帰ったといわれております。山城(京都)、大和(奈良)、伊勢(三重)、駿河(静岡)と河越(現在の武州・狭山辺り)が日本の名園五場

と呼ばれて
いました。
昔から茶
柱が立つと
縁起が良い」とかお茶は
不老長寿の薬」とかいわ
れたり、腰に掛けたる新
茶を出して、新茶飲み飲
み、よくよく見たら……と
か、おらがおせどのお稲
荷さまへ、ちよいと拝ん
でお茶屋へ寄って、お茶
を飲んだか、渋茶も飲ん
だ……とお茶に関する童
歌などもあります。



また、昔話では、きれいな娘に化けた大蛇が、山(雑木林)へ仕事に来る若者を一飲みにしようにと、ようすをつかがつていましたが、仲間との会話に「今日は、朝茶を飲んできたので調子がよい」と言つたのを、娘は朝じゃ(蛇)を飲んできた」と聞き違え、これはかなわんと、ほうぼうのていで逃げ出したそうです。朝茶は、魔よけになるから必ず飲んで行け」といふ言い伝えもあるそうです。

市民の作品展

俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

竜宮へ誘う螢鳥賊の群

石添 火人

春眠の猫をつついてみる真昼

神谷 節子

平凡が倅せと知る目借時

諏訪部正重

深川の花見ゆつたり艘漕船

千葉 昭久

鳥雲に名のみとなりし富士見坂

長谷川綾子

散るさくらに残るさくらに人の声

水村 成子

編集後記



5月、都市緑化植物園では、ハンカチの木に続き、さまざま種類のバラが美しさを競い合うかの

ように咲き誇ります。下旬には智光山公園の花菖蒲園でも花が咲き始め、紫陽花と相まって初夏を感じさせてくれることと思ひます。

広報さやま、ひと・まち・写真館では、まちの出来事やイベントの取材をとおして、狭山の四季をお伝えしています。皆さんも季節に楽しい思い出を添えてみてはいかがですか。新緑のこの時季、ぜひ、お出かけください。

分かるかな?

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか?



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。締切り5月31日(水・当日消印有効)

4月号の答え

17ページ・クラブ紹介の「スタート台」の写真でした。



👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)	5月1日現在。(内は前月比)	
	住民基本台帳人口	外国人登録人口
男	80,084人 (-7人)	919人(-11人)
女	77,675人(-46人)	1,152人(+5人)
合計	157,759人(-53人)	2,071人(-6人)
世帯	62,369世帯(+163世帯)	1,510世帯(+1世帯)

4月の火災・救急件数(消防本部)
火災件数 3件(建物2件、その他1件)
救急出動件数 456件(搬送人員427人)



公式モバイルサイトのQRコード
QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトに簡単にアクセスできます